

愛知学院大学歯学部附属病院 無線LANサービス利用規約

令和4年2月17日施行

(目的)

第1条 本規約は、愛知学院大学歯学部附属病院（以下、「病院」という。）が患者満足度の向上と患者サービスの充実を目的として提供する無線LANによるインターネット接続サービス（以下、「本サービス」という。）の利用について、必要な事項を定めるものとする。

(利用場所及び利用時間)

第2条 本サービスが利用できる場所及び時間は、次の通りとする。ただし、災害発生時その病院が特に必要と認めた場合は、利用者に予告なく本サービスの利用について変更又は中止できるものとする。

利用時間	午前8時～午後9時まで
利用場所	西館2階 病棟

(利用者)

第3条 本規約でいう利用者とは、本サービスを利用する入院患者をいう。

(利用者が準備するもの)

第4条 本サービスの利用を希望する者は、利用にあたり、次に掲げる機器等を準備しなければならない。なお、病院から機器等の貸出しは行わないものとする。

- (1) スマートフォン、パーソナルコンピューター等の接続端末
- (2) 無線LANインターフェース
- (3) 閲覧ソフト

(本サービスの利用)

第5条 サービスの利用は、本規約に同意した個人に対して認めるものとし、利用者は不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成11年法律第128号）その他の関係法令等を遵守しなければならない。

- 2 本サービスの利用料金は無料とするが、インターネット上の有料サービスは利用者が負担するものとする。
- 3 病院は設定等に関し、技術的な質問についての問い合わせを一切受け付けない。
- 4 本サービスについて、常に安定した接続環境を保障するものではない。
- 5 本サービスの利用者は、他の利用者又は第三者（以下、「他者」という。）の迷惑にならないように配慮して利用しなければならない。

(禁止行為)

第6条 利用者は、本サービスの利用にあたり、次の各号に定める行為（以下、「禁止行為」という）を行ってはならない。なお、利用者が禁止行為を行うことによって他者に障害を生じさ

せた場合は、当該利用者の責任と費用負担で解決するものとし、病院は一切の責任を負わないものとする。

- (1) 他者の著作権やその他の権利を侵害する行為又は侵害するおそれのある行為
- (2) 他者の財産やプライバシーを侵害する行為又は侵害するおそれのある行為
- (3) 前2号に掲げるほか、他者に不利益や損害を与える行為又は与えるおそれのある行為
- (4) 他者を誹謗中傷する行為
- (5) 公序良俗に反する行為又はそのおそれのある行為
- (6) 犯罪的行為又はそのおそれのある行為
- (7) 選挙活動に関する行為（選挙期間中であるか否かを問わない）
- (8) 性風俗、宗教又は政治に関する行為
- (9) 営利目的の行為
- (10) コンピュータウイルス等の有害なプログラムを提供する行為
- (11) 特定又は不特定多数に大量にメールを送信する行為
- (12) ファイル共有ソフトの使用等著しく大量のデータを送受信する行為
- (13) 前各号に掲げるもののほか、法令に違反し、若しくは違反するおそれのある行為又は病院が不適切と判断する行為

(利用の停止)

第7条 利用者が次のいずれかに該当する場合は、事前に通知することなく直ちに当該利用者の利用を停止することができるものとする。

- (1) 禁止行為に該当する行為を行った場合
- (2) 本規約に違反した場合
- (3) その他利用者として病院が不適切と判断した場合

(運用の停止、中止)

第8条 病院は、次のいずれかに該当する場合は、本サービスの運用を中止又は停止できるものとする。

- (1) 本サービスのシステムの保守又は工事を行う場合
- (2) 戦争、暴動、騒乱、労働争議、地震、噴火、洪水、津波、火災、停電その他の非常事態により、本サービスの運用を通常通り行うことができない場合
- (3) 本サービスのシステムに係る設備やネットワークの障害等、やむを得ない事由がある場合
- (4) その他一時的な中断が必要であると病院が判断した場合

(免責等)

第9条 本サービスの利用、利用停止又は運用の停止、若しくは中止により、利用者又は第三者が被った被害については、病院はその責を一切負わないものとする。

2 病院は、利用者等が本サービスを通じて得る情報等は、その安全性、正確性、確実性、有用性等についていかなる保証も行わないものとする。

3 本サービスの提供、遅滞、変更、中止又は廃止、本サービスを通じて登録、提供又は収集

された利用者の情報の消失、利用者のコンピュータのウイルス感染等による被害、データの破損又は漏洩、その他本サービスに関連して発生した利用者の損害について、病院はその責任を一切負わないものとする。

- 4 本サービスへの接続に係る利用者の機器設定は、利用者が行うものとする。この場合において、接続する機種、OS、ソフト等により本サービスを利用できない場合についても、病院はその責任を一切負わないものとする。
- 5 利用者が本サービスを利用したことにより、他者との間に生じた紛争等について、病院はその責任を一切負わないものとする。
- 6 病院は、本サービスの適切な利用を図るために、利用者の本サービスの利用ログを記録し、特定のWEBサイトへの接続を制限することができるものとする。

(管轄)

- 第10条 本サービスに関して、病院と利用者との間で紛争が生じた場合には、当該当事者がともに誠意をもって協議するものとする。
- 2 前項の協議をしても解決しない場合、名古屋地方裁判所又は名古屋簡易裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とする。

(本規約の変更)

- 第11条 病院は、必要があると認めるときは予告なくこの規約を変更できるものとする。本規約の変更後に利用者が本サービスを利用したときは、利用者は変更後の規約に同意したものとみなす。

(改廃)

- 第12条 この規約の改廃は、臨床部長会の議を経て病院長が定める。

附則

この規約は、令和4年2月17日から施行する。